

今治空襲の被災状況を児童に語り聴かせる授業の開催について

【日時：6月18日（木）／場所：NTT西日本今治支店ビル】

NTT西日本愛媛支店（支店長：大橋大樹）では、今治市立吹揚小学校（高橋典子校長）の依頼を受けて、6月18日（木）「今治空襲の被災状況を児童に語り聴かせる授業」を行ないます。

太平洋戦争末期の1945年（昭和20年）4月26日午前9時20分、米軍のB29爆撃機の落とした爆弾が当時の今治郵便局にあった電話交換室を直撃し、勤務中の電話交換手のうち、16歳から21歳の女子職員10名が殉職、12名が重軽傷を負うといういたましい出来事がありました。

NTT西日本愛媛支店では、二度と悲惨な戦争を起こさないよう、記憶を風化させないために児童に語り聴かせる授業を行い、平和を願い、戦争の悲惨さを語り継いでまいります。

※NTT西日本愛媛支店では、毎年4月下旬に慰霊祭を行ない、殉職された方々を供養しています。

実施内容	
1. 日 時	2015年6月18日（木） 10:30～11:30（予定） ※ 2班に分かれ、10:30、11:00の2回行います。 ※ 授業後、代表児童が慰霊碑に焼香します。
2. 場 所	NTT西日本今治支店ビル 旧棟4F会議室
3. 生 徒	今治市立吹揚小学校 6年生67名
4. 講 師	水口 豊（NTTOB、前今治支店長）

※ ニュースリリースに記載している内容は、報道発表時のものです。

最新の情報と内容が異なる場合がありますのでご了承ください。